

Title	ラポルテ教授の友情 : 工学部の終戦秘話
Author(s)	田中, 晋輔
Citation	大阪大学史紀要. 1 P.117-P.119
Issue Date	1981-05-01
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/3518
DOI	
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

〔回想〕

ラポルテ教授の友情

——工学部の終戦秘話——

田 中 晋 輔

終戦直後のことです。私は戦時中から大阪造兵廠に関係していました。当時その研究所の一部が近鉄沿線の玉手山学院に疎開していました。終戦と同時に時の廠長某中将に会いましたところ、疎開先の設備は全部軍の秘密であって、正式帳簿には書かれていないので、全部工学部の方へ譲ると言われました。また枚方造兵廠の土地建物も工学部で使用するようにしては如何との話がありました。工学部の施設はほとんど全部戦災に会い、教育研究の再開はほとんど不可能の状態でありました。私は終戦後間もなく工学部長に選任されたので、喜んでこの好意を受諾し、研究所の機器と図書を全部東野田に運び、枚方では取敢ず授業を開始したのであります。

数ヶ月後と思いますが、どうしたにか米占領軍大阪支所から呼出されました。研究所の施設は全部占領物資であり、その無断搬出は占領物資隠匿であり、占領軍の政策に反する最も悪質な犯罪であると強く咎められました。このことは総長の耳にも入って非常に苦慮せられ、重大な問題となりました。

当時占領物資は多くの軍需工場で指定され、厳重な保管義務を負わ

されてきました。これに違反した者は、占領物資隠匿罪として、重い罪の一つに問われて沖繩に収容されました。

私は秘かに沖繩行きを覚悟していました。こうした或る日、突然米国ミシガン大学のラポルテ教授が尋ねて来られました。同教授は若い頃私のいた京都大学理学部物理教室の木村教授の下で研究されました。大の日本好きで、私の家に来られ、暇あるごとに名所旧跡を廻られ、殊に私の好む能楽に興味を持ち、共に語り共に楽しみ私とは親友以上の交りを重ねていました。また私がスイスのチューリッヒでシェラー教授の下で勉強していた時も来られて、二人で数ヶ月間も共にスイスを旅行などして旧交を温めました。

幸いにも同教授は米軍の顧問として東京におられて阪大のことが耳に入ったのです。それですぐに来阪されたのです。そして意外にもおっしゃるのです。

「心配する事はありません。米軍が工学部を爆撃したのは全くの誤りで造兵廠を爆撃するのを目的としていたのが、誤って工学部になったのです。米軍は教育施設を破壊するようなことは少しも考えていません。従って造兵廠の施設であっても、これを工学部の教育に利用されることは米軍は却て望む所です。これから施設全部を占領物資から除外するように配慮します。」

私にとっては全く夢のような話と、心から感泣致しました。

その手続きには数ヶ月を要しました。その期間は、一般の占領物資として取り扱われましたので、その保管は二十四時間勤務でして、もちろん一般市民の立ち入りは厳重に禁止されていました。しかしそれ

萬葉旅行の記録(2)

回数	名称	年・月・日	天候	参加員
45	藤白大崎	10・12	晴	124
46	近江大津京	11・23	快晴	197
47	播磨路内海	3・26~28	〃	131
48	飛鳥	34・4・29	〃	318
49	吉野宮滝陰	7・12	晴	118
50	山	7・20~24	快晴	129
51	初瀬安騎野	10・11	〃	180
52	真土山	11・22	〃	167
53	近江越前	35・3・27~29	曇→快晴	93
54	山辺道	5・22	快晴	295
55	吉野宮滝	7・10	曇→晴	101
56	筑紫路	35・7・20~24	快晴	71
57	淡路	10・9	〃	315
58	二上山	11・23, 27	曇	96
59	木曾藤村旅行	36・3・25~28	雪→曇	187
60	飛鳥藤原京	5・21	曇	144
61	吉野宮滝	7・9	快晴	135
62	越中能登	7・20~24	〃	148
63	北紀伊	10・8	〃	235
64	奈良山	11・23	〃	219
65	瀬戸内海	37・3・26~29	〃	115
66	竜田路	5・13	〃	227
67	吉野宮滝	7・8	晴	75
68	南紀	7・22~25	快晴	103
69	山背恭仁京	10・7	〃	135
70	初瀬安騎野	11・23	〃	159
71	三河遠江	38・3・26~28	〃	84
72	飛鳥檜隈	5・26	薄曇	147
73	吉野宮滝	7・7	晴	87
74	山	7・22~26	快晴	169
75	紀ノ川	10・12	〃	159
76	近江大津京	11・23	〃	189
77	木曾藤村旅行	39・3・25~28	快晴→大雪	205
78	山辺道	5・17	快晴	217
79	吉野宮滝	7・12	〃	92
80	筑紫路	7・21~25	〃	98
81	淡路	10・11	〃	185
82	河内二上	11・22	〃	132
83	近江越前	40・3・26~28	雪	93
84	飛鳥藤原京	5・23	快晴	221
85	吉野宮滝	7・11	晴	122
86	越中能登	40・7・21~25	曇・晴	125
87	藤白大崎	10・10	快晴	116
88	奈良山	11・21	〃	166
89	瀬戸内海	41・3・26~29	快晴→小雨	100
90	竜田路	5・15	雨	247
91	吉野宮滝	7・10	晴	88
91	熊野	7・21~24	快晴	112

P 119 へつづく

では研究と教育はできませんので、特に職員学生に徽章を作り、所持する者は自由に入出入りすることができるよう許可を受けました。今もこの徽章は工学部に残っているはずですが。これは誠に大切な記念品でありますので長く保存したいと思います。

私は以上のことはどうしても工学部関係諸兄に伝え、永久にラポルテ教授の恩恵を忘れないようにしたいと思います。これは私の義務でもあり、ラポルテ教授の友情に対するせめてもの報恩であると思っています。

皆様人間の友情というものの美しさを心から感じましょう。

- 一 オットー・ラポルテ Otto Laporte
アーノルド・サマーフェルド Arnold Sommerfeld (独ミンヘン大学教授の筆頭助手をつとめ、サマーフェルドが日本を訪れた昭和三年(一九二八)にラポルテは約一年間、日本に滞在し、理化学研究所、京大物理教室で分光学の研究を行なった。
- 二 翌昭和四年米国に渡りミシガン大学教授となった。分光学上の業績は数多く、中でもラポルテズ・ルール Laporte's Rule (ラポルテの規則)は有名である。
- 三 第二次大戦後初代サイエンス・アタッシェ Science Attache として来日、その後も再度来日し、その間研究上の諸問題や海外留学等について多くの日本人が彼の世話になって居り、当時の日本人にとっては忘れられない恩人の一人である。(たなか しんすけ 大阪大学名誉教授)

萬葉旅行の記録(3)

回数	名称	年・月・日	天候	参加人員	回数	名称	年・月・日	天候	参加人員
93	山背恭仁京	10・9	〃	151	129	高円山	10・14	晴	149
94	初瀬安騎野	11・20	〃	192	130	近江蒲生野	11・23	〃	196
95	木曾藤村旅行	42・3・25~28	快晴→雨→晴	171	131	磐余飛鳥	49・5・19	〃	164
96	山辺道	5・14	快晴	199	*	山辺道	6・9	快晴	28
97	吉野宮滝	7・9,11	曇	62	132	吉野宮滝	6・30	雨	105
98	山陰	7・19~24	快晴	153	133	越中能登	7・29~31	晴	162
99	近江大津京	10・8	〃	215	134	淡路	11・10	快晴	133
100	飛鳥	11・19	曇・小雨	455	135	初瀬安騎野	12・1	晴	178
101	近江越前	43・3・21~24	晴	113	136	大和三山	50・5・11	〃	207
102	奈良山	5・12	小雨	254	137	吉野宮滝	7・13	〃	125
103	吉野宮滝	6・30	晴	152	138	熊野路	7・29~8・1	快晴	113
104	筑紫路	7・22~27	快晴	121	139	近江大津京	10・26	〃	145
105	淡路	10・10	晴	121	140	二上山	50・11・30	晴	128
106	二上山	11・23	快晴	221	141	飛鳥	51・5・9	快晴	198
107	吉野宮滝	44・6・29	晴	77	142	吉野宮滝	7・11	曇	102
108	沓岐・対馬	8・7~13	快晴	54	143	筑紫路	8・2~6	晴	116
109	山辺道	10・19	〃	114	144	竜田路	10・24	〃	125
110	初瀬安騎野	11・23	〃	110	145	高円山	11・28	〃	118
111	大和三山	45・1・25	〃	241	146	山辺道	52・5・8	快晴	201
112	木曾藤村旅行				147	吉野宮滝	7・10	晴	122
	さわらび組	3・20~23	晴→雪	229	148	山陰	8・1~5	快晴	123
	わかな組	4・3~6	雨→晴	160	149	初瀬安騎野	10・2	〃	119
犬養先生停年退官 第1回~第112回 小計				18,392	150	飛鳥	11・23	〃	301
113	山辺道	45・6・7	快晴	352	151	多武峰飛鳥	53・5・11	晴	273
114	吉野宮滝	7・12	晴	235	152	吉野宮滝	7・9	晴・雷雨	175
115	山陰	8・10~15	快晴	117	153	越中能登	8・1~3	快晴	108
116	二上山	11・23	〃	352	154	淡路	10・22	〃	168
117	飛鳥槍隈	46・5・9	〃	175	155	近江蒲生路	11・23	〃	208
118	近江大津京	5・16	晴	375	156	大和三山	54・4・23	〃	296
119	吉野宮滝	7・11	快晴	285	157	吉野宮滝	7・8	小雨	197
120	越路	8・3~6	〃	142	158	沓岐・対馬	8・1~5	快晴	163
121	初瀬安騎野	10・31	小雨	146	159	高円山	10・21	晴	228
122	淡路	11・23	晴	324	160	巨勢真土山	11・18	小雨	141
123	多武峰飛鳥	47・7・2	〃	292	161	湖北越前	55・3・20~21	快晴	151
124	筑紫路	7・31~8・5	快晴	122	162	山辺道	4・27	曇	372
125	山背恭仁京	11・12	〃	114	163	吉野宮滝	7・6	〃	163
126	北紀伊大崎	11・26	〃	251	164	熊野路	7・30~8・2	小雨→快晴	141
127	山辺道	48・5・13	〃	258	165	近江大津京	10・12	曇	216
*	吉野宮滝	6・24	晴	188	166	下津大崎	11・16	〃	224
*	真土山	7・16	〃	29					
128	山陰	7・29~8・2	晴→雨	113					
第1回~第166回 計				28,844					

P47, 110, 118よりつづく